

# 10月のできごと



## 消防の仕事体験

11日、消防署安平支署で、はやきた子ども園の園児らによる幼年消防クラブの活動が行われました。

園児たちは、消防隊員の訓練の見学や煙が充満した部屋の中からの脱出を体験。

中でも園児たちが「凄かった。楽しかった」と話してくれたのが放水体験。勢いよく出てくる水の水圧に負けじと力強くホースを握る園児たちでした。

## 実りの秋 新米を寄贈

12日、JAとまこまい広域から安平町と教育委員会に対して、胆振東部3町（安平町、厚真町、むかわ町）で収穫された、たんとう米（新米ななつぼしをそれぞれ50㍻）が寄贈されました。

今回寄贈されたお米は、11月の給食で振舞われることとなっています。



小さく折り畳んだ新聞紙につま先立ちできるかの勝負

## 笑いが絶えない2日間

デイサービス、ケアハウス サックル、グループホームさかえの合同秋祭りが15、16日の2日間にわたり開催され、恒例の「どっちが勝つでしょう」では、本気で勝負に挑む参加者に声援が飛び交い、会場は大盛り上がり。

16日には、ギターとオカリナで全道を回るザ・サンジャが出演。オカリナが奏でる優しい音色の懐かしいメロディが会場を包んでいました。

## 広報業務を一日体験

13日、早来中学校2年生の職業体験が町内15箇所事業所で行われ、役場では白崎佑輔君が広報業務を体験しました。

取材前「不安」と話していたカメラ撮影は、自ら動き良い画角を探し、インタビュ어도上手に行っていました。

業務は、取材してきたことをまとめ、安平町フェイスブックで情報発信をして終了。「大変だったけど形になる仕事は楽しかった」と満足した様子が伺えました。

## 同級生の職場体験を突撃

文・写真 白崎 佑輔

最初に行ったのは、はやきた子ども園。たくさんの園児の中に泉田さんがいました。「小さい子と触れ合えて楽しい」と話してくれました。

次は、畠山君と高林君の2人が体験中の消防署へ。降下訓練やけが人を搬送する方法のバックボード固定などを体験した2人は「消防隊員の凄さがわかった」と話してくれました。それぞれの場所で貴重な体験をできたことが分かりました。



インタビュアー白崎君（右）と取材に答える高林君（左）